

講義名	研究演習 (人)		
講義コード	25210	授業形態	
担当教員	山本 勝巳	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 5時限
		キャンパリング・コード	SEM250
学部・学科		演習分野	
人間社会学部		英語学・英語音声学	
概要説明			
<p>本演習では観光英語分野の素材を利用して、英語学および音声学を中心とした研究演習を行います。英語学の観点から、日本語や受講生の母国語と比較した場合に英語がどのような言語か、文字・表記・語い・意味について研究します。音声学の観点からは、音声・言語・方言等について研究します。</p> <p>研究課題は観光英語を素材とした英語学および音声学に関すること等とします。これらの中からさらに、各自関心のあるテーマを選んで研究していきます。研究演習Iでは、特に観光英語分野の素材を利用して、音声や語いの特徴を見だし、自分の英語と比較することでより実践的な表現ができるようになることを目標とします。</p>			
主な卒業論文のタイトル			
Promoting Japanese Tourism Awareness in Nepal (2024)			
教員よりの要望			
無断欠席はしないでください。相手の意見に耳を傾け、事実に基づく議論ができる人に参加してほしいと思います。			
選考方法			
研究演習申込書および面接によって選考します。必ず事前に個別ガイダンスを受けてください。			

評価方法	
演習での発表および提出課題、出席状況、平常点等による総合評価	
教員英字氏名	研究室
YAMAMOTO Katsumi	研究棟I 105研究室
最終学歴	
神戸市外国語大学大学院英語学専攻修了	
学位	
文学修士	
主な研究活動・社会活動・研究業績	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「分析手続きのxx化のために：Praat scriptを利用するはじめての一步」ことばの科学会2023年11月度研究例会口頭発表</li> <li>・「Moodleのログから見たコロナ禍における利用者の学び」『流通科学大学論集 人間・社会・自然編』34(1) 75-86 2021年</li> <li>・「Moodleのログから見た利用者の学び」『流通科学大学論集 人間・社会・自然編』31(1) 25-36 2018年</li> <li>・「流通科学大学におけるMoodleを利用した多言語学習環境の構築と運用」(共著)『流通科学大学 高等教育推進センター紀要』(2) 15-25 2017年</li> <li>・「流通科学大学における英語教育フレームワークの構築と実践」(共著)『流通科学大学 高等教育推進センター紀要』49-60 2014年</li> <li>・「フレンド型英語学習環境の構築と実践」(共著)『流通科学大学論集 人間・社会・自然編』24(2) 33-37 2012年</li> <li>・「小中学校教員の発音指導に対する意識 アンケート調査による考察」(共著)『LEI関西支部研究集録』(13) 57-78 2011年</li> <li>・「単語境界明示化に關与する音響的手がかりについて(文献調査)」『関西福祉大学社会福祉学部研究紀要』(12) 299-302 2009年</li> <li>・「発音指導における説明の在り方」『関西国際大学コミュニケーション研究所コミュニケーション研究叢書』第7集 1-12 2009年</li> <li>・「A reconsideration of word segmentation cues of Japanese learners of English.」『関西福祉大学研究紀要』(11) 83-87 2008年</li> <li>・「日本人の英語イントネーションとその容認度-EILの観点に基づく指導への提言」(共著)『関西国際大学コミュニケーション研究所コミュニケーション研究叢書』第6集 1-12 2008年</li> <li>・「日本人の英語発音：イントネーションの容認性」(共著)『関西国際大学コミュニケーション研究所コミュニケーション研究叢書』</li> </ul>	
趣味・特技	
コロナ禍での日常生活となったこの数年対人関係が希薄になった分、脳とPCとの接点となるキーボード沼にはまっています。体力の衰えを補うべく近場へは自転車移動もするようになりました。	
所属	
人間社会学部観光学科	
所属学会	
日本音声学会・日本音響学会・外国語教育メディア学会・ことばの科学会・全国英語教育学会・大学関西英語教育学会・英語教育学会・Acoustical Society of America	
専門分野	
英語学・実験音声学	
担当科目	
英語A・海外語学研修(アメリカ)・ホスピタリティ英語・英語発音クリニック・基礎能力(パソコンの基礎)・専門基礎演習・研究演習I・研究演習II・教養特講(観光学へのいきない)	
備考	
実務経験の有無及び活用	